

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成19年3月15日(2007.3.15)

【公表番号】特表2006-516451(P2006-516451A)

【公表日】平成18年7月6日(2006.7.6)

【年通号数】公開・登録公報2006-026

【出願番号】特願2006-503019(P2006-503019)

【国際特許分類】

A 6 1 M 25/00 (2006.01)

A 6 1 M 39/00 (2006.01)

A 6 1 N 1/372 (2006.01)

【F I】

A 6 1 M 25/00 3 0 6 B

A 6 1 M 25/00 3 1 8 B

A 6 1 M 25/00 4 1 0 R

A 6 1 N 1/372

【手続補正書】

【提出日】平成19年1月26日(2007.1.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

患者の心臓にアクセスするためのガイディングカテーテルシステムであって、

1つの外筒と、

1つのスタイルットと、を含み、

前記外筒が、1つの開口ガイドルーメンと、該外筒の外面に沿って設けられた少なくとも1つのインフレーションルーメンと、該外筒の遠位部分に固定可能に取り付けられた遠位バルーンの少なくとも1つのセグメントであって、該遠位バルーンが該少なくとも1つのインフレーションルーメンと流体連絡しているセグメントと、を含み、

前記スタイルットは前記外筒のガイドルーメン内に配置され、該スタイルットは予備成形された遠位屈曲部を含み、該スタイルットは該外筒の長手軸に沿って該外筒内で回転可能であり、また、該スタイルットの該予備成形された遠位屈曲部は、該スタイルットの回転に伴って該外筒の長手軸の側方へ該外筒を偏向させる寸法に作られていることを特徴とするガイディングカテーテルシステム。

【請求項2】

該外筒が、該外筒の長手軸に沿って設けられたピールアウェイ機構をさらに含む、請求項1記載のガイディングカテーテルシステム。

【請求項3】

該ピールアウェイ機構が、該少なくとも1つのインフレーションルーメンと該外筒の外面との間の逃げ溝を含む、請求項2記載のガイディングカテーテルシステム。

【請求項4】

該ピールアウェイ機構が、該少なくとも1つのインフレーションルーメンと該外筒の外面との間の界面で肥厚区間をさらに含む、請求項2記載のガイディングカテーテルシステム。

【請求項5】

該スタイルットが1つの開口ルーメンを含み、該ガイディングカーテルシステムが、該スタイルットの該開口ルーメン内に移動可能に配置された1本のガイドワイヤーをさらに含む、請求項1記載のガイディングカーテルシステム。

【請求項6】

該ガイドワイヤーが該ガイドワイヤーの遠位先端でループを含む、請求項5記載のガイディングカーテルシステム。

【請求項7】

該ガイドワイヤーは、該ガイドワイヤーの遠位先端が室温では実質的に直線状であるが体温ではループ形状を取るような材料から形成される、請求項5記載のガイディングカーテルシステム。

【請求項8】

該ガイドワイヤーが該ガイドワイヤーの遠位先端でセンサーを含む、請求項5記載のガイディングカーテルシステム。

【請求項9】

該センサーが電極を含む、請求項8記載のガイディングカーテルシステム。

【請求項10】

該外筒の開口ガイドルーメンが電気的医療用リード線を受け入れる寸法に作られている、請求項1記載のガイディングカーテルシステム。

【請求項11】

該インフレーションルーメン内に組み込まれた1つ以上の第2のバルーンをさらに含み、該第2のバルーンが該遠位バルーンセグメントの近位置にある、請求項1記載のガイディングカーテルシステム。

【請求項12】

前記遠位バルーンが溝付きである、請求項1記載のガイディングカーテルシステム。

【請求項13】

ガイディングカーテルシステムを制御する方法であって、

スタイルットを外筒のガイドルーメン内に導入するステップを含み、前記スタイルットは開口ルーメンと、前記スタイルットの回転時に前記外筒の長手軸に対して横方向に前記外筒を偏向させる寸法に作られている予備形成された湾曲部を有しており、

遠位バルーンを拡張させるステップを含み、遠位バルーンの少なくとも1つのセグメントが前記外筒の遠位部分に固定可能に取り付けられ、前記遠位バルーンが前記外筒の1つの面に沿って設けられた少なくとも1つのインフレーションルーメンと流体連通しており、前記遠位バルーンは拡張された場合に前記外筒を取り囲む1つに面に係合可能である、ガイディングカーテルシステムを制御する方法。

【請求項14】

本のガイドワイヤーを前記スタイルットの開口ルーメンを介して前進させて、少なくとも該ガイドワイヤーの遠位端が前記スタイルットの開口ルーメンから出るようにするステップをさらに含む、請求項13の方法。

【請求項15】

前記ガイドワイヤーが、該ガイドワイヤーの遠位端においてセンサーを支持する、請求項14の方法。

【請求項16】

前記スタイルットを前記外筒から抜去しつつ電気的医療用リード線を前記外筒の前記ガイドルーメンを介して前進させるステップをさらに含む、請求項13の方法。

【請求項17】

前記遠位端にある前記バルーンの近位置で前記外筒に取り付けられた第2のバルーンを拡張させるステップをさらに含む、請求項13の方法。